

安全技術講習会実施報告

表記安全技術講習会を下記のように実施いたしましたので報告いたします。

記

<概 要>

1. 日時:平成 27 年 7 月 18 日(土)
2. 会場:ジャックの森(市原市天羽田)
3. 内容:①里山整備の基本としての刈払い作業 ②広葉樹林での伐倒(架かり木対応)
4. 共催:おとずれ山の会/ちば里山センター

<日 程>

1. 集 合: 8:45~9:00 にかけて受付。参加者(添付別紙):受講者 19 名、付き添い参加者 1 名、スタッフ 11 名、支援者 2 名、講師 1 名 計 34 名。
2. 開 会: 9:00~主催者挨拶(おとずれ山の会代表)及び日程等説明(おとずれ山の会世話役)
3. 講 義: 9:10~刈払い及び伐倒作業における基本動作等につき、講師による座学。
4. 刈払実習: 9:50~二班に分かれて刈払い実習を実施。
5. 休 憩: 10:30~
6. 伐倒実習: 10:50~ロープワークの活用により伐倒方向を誘導し、コナラの伐倒を行った。
7. 昼 食: 11:40~
8. 伐倒実習: 12:30~架かり木状態をつくり、その処理の実習を行った。
9. 終 礼: 14:00~参加者(団体)の紹介、感想発表のあと、講師の講評があり、14:40 終了した。

<所 感>

1. 台風の接近で天候が危惧されたが、気温は高いがまずまずのコンディションとなり、全カリキュラムを予定通り進めることができた。
2. 刈払い作業については、少数の初心者を含め、動作の基本を実習で確かめることができたものと思われ、経験者(ベテラン)にとっても意義ある講習となった様子。
3. 特に、「架かり木」は多くの参加者にとって共通した課題であり、関心も高く、架かり木状態をつくってその処理を考える実習は有意義であったと思われる。
4. また、スローライン・スローバッグによる高所へのロープの取り付け方法は、ボランティアにとって活用できるものとして重宝であり、従来マニュアルとのコラボにより、効果が上がるものと思われる。(この技術の紹介を買って出られた岡部夫妻、並びに林業における安全管理マニュアルに、急遽スローラインによる方法を取り入れて指導して下さった木村講師に感謝申し上げます。)
5. なお、今回 5 名の受講者を派遣してくれた「鴨川里山を守る会」から、今回のような安全講習を地元鴨川のフィールドで開催してほしいとの要望が出された(20 名の会員あり)。ほかの団体にも同様のニーズがあり、ちば里山センターとして対応してゆくことが必要と感じた。(以下添付写真)

朝礼及び座学↓



木村講師(中央)↑

↓刈払い実習

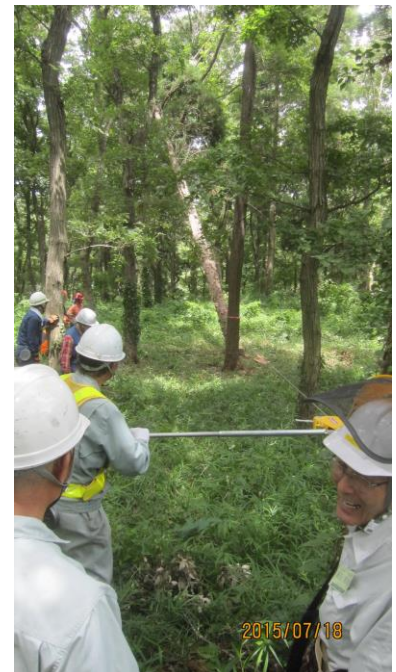


→
コナラの
伐倒

↓架かり木づくり



チルホールによる牽引↓



終礼
全員集合